



カブト岩から望む御岳・乗鞍・槍ヶ岳

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
な ぎ そ だけ  
**南木曾岳**

南木曾支署  
(各署の景勝地等を紹介)

低くして険しく

南木曾支署のすぐ裏山は、与川・蘭森林事務所管内にまたがる標高一、六六七



コウヤマキの巨木林

の南木曾岳があります。

南木曾岳は御嶽山、木曾駒ヶ岳とともに木曾三岳の一つとして、修験者の修行の場となっていました。また、別名金時山とも呼ばれ、数多くの金時伝説があり、山麓には産湯につかったとされる池や洞窟なども残っています。

現在、そそり立つ岩峰は厳しいですが木段、棧道、ハシゴ、クサリなど登山道はしっかりと整備されています。

南木曾岳山頂に至る登山道沿いには、樹齢三百年以上の木曾五木が林立する蘭美林があり、中でも木曾五木の一つであるコウヤマキの巨木の林は木曾谷一の規模と言われています。

山頂付近には、クマイザサの中に点在

する兔岩、金時岩、弘法岩などの巨岩と木曾ヒノキ白骨林が一体となった見事な庭園風景を見ることが出来ます。

また、展望台や途中のピークからは、遠く南アルプス、恵那山、中央アルプス、御嶽山、裏木曾の山々、蘭・南木曾の町並みが展望できます。

標高は低くして大変険しい山ですが、里山的で日帰りコースの登山として、地元の方はもちろん中京圏からも大勢の方が南木曾岳に訪れます。

当支署の所在する南木曾町には、ほかにも国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている妻籠宿、木曾路の渓谷の中でも特に美しいといわれる柿其溪谷、日本の滝百選にも選ばれた無数の瀑布からなる田立の滝等々見所がたくさんあります。

**アクセス**

**〔公共機関を使用した場合〕**

JR中央西線南木曾駅下車

路線バス保神行き尾越停留所下車

尾越停留所から南木曾岳山頂まで徒歩二時間三十分

**〔自動車を使用した場合〕**

中央自動車道中津川ICより四十五分

長野自動車道塩尻ICより一〇〇分

駐車場から徒歩二時間